

⑦内科系 7 (消化器内科)

1. 研修の目標

医療の原点は、疾病を診ることではなく病める人を診る、すなわち全人的医療にある。消化器内科では、消化器疾患という頻度の高い疾患の診療を通して全人的医療の実際を学び、内科の基本を身につけることを目指す。

2. 研修指導体制

- (1) 指導医によるマンツーマン指導体制をとる。
- (2) 新患紹介、回診、消化管・肝胆膵各専門カンファレンス・専門回診を通して消化器内科診療全般に於ける理解を深める。
- (3) 消化器外科、放射線科との合同カンファレンス(食道癌、肝臓癌等)を通して消化器癌の集学的治療の実際を学ぶ。
- (4) 毎週月曜日の勉強会では消化器疾患における最新の知識を学ぶ。
自ら抄読会を行うことで文献検索の方法、臨床英文の読み方を学ぶ。
- (5) 自ら経験した貴重な症例を関連学会で発表する。

3. 研修指導責任者 中尾 一彦

4. 研修内容

- (1) 消化器疾患の病歴のとり方、診察法の修得
- (2) 血液生化学検査、免疫学的検査、肝機能検査、肝炎ウイルスマーカー、腫瘍マーカーの解釈と診断
- (3) 画像の診かた(超音波、CT、MRI、消化管造影、内視鏡、カプセル内視鏡)
- (4) 消化器疾患の診断にいたる検査の進め方、鑑別診断の進め方
- (5) 消化器疾患の治療法の理解と計画立案
- (6) 消化器内疾患の観血的検査法(腹水穿刺、内視鏡検査、肝生検など)
- (7) 消化器疾患の食事療法・栄養管理

5. 研修到達目標

5-1 行動目標

自ら問題点を挙げ、鑑別診断を考え、文献検索、インターネット検索を活用して積極的に学ぶ姿勢を身につける。

5-2 経験目標

(1) 検査と手技

尿検査、糞便検査、血液生化学検査の評価、電解質・酸塩基平衡異常の理解
肝炎ウイルス検査の評価、腫瘍マーカーの評価、ヘリコバクター・ピロリ診断、
各種自己抗体検査の評価

超音波検査、腹部単純X線、CT・MRI読影、RI検査読影、消化管造影、
上部・下部内視鏡検査、小腸内視鏡検査、カプセル内視鏡、ERCP、
大腿動静脈の穿刺、中心静脈栄養、腹水穿刺、内視鏡下生検、肝生検

(2) 治療法

一般消化器病薬の用法、輸液療法、抗生物質の選択と投与方法、ヘリコバクター・
ピロリ除菌、肝炎ウイルス抗ウイルス療法、免疫抑制剤の投与方法、生物学的製剤
の投与方法、抗癌剤の選択と投与方法、がん緩和医療、食事栄養療法
胃管挿入、イレウス管挿入、内視鏡的止血術、食道静脈瘤結紮術、
内視鏡的減黄術、肝不全治療、血漿交換・血液ろ過透析、白血球除去療法

(3) 疾患

①食道・胃・十二指腸疾患

逆流性食道炎、食道胃静脈瘤、食道癌、胃癌、胃・十二指腸潰瘍

②小腸・大腸疾患

イレウス、急性虫垂炎、虚血性腸炎、大腸憩室症、炎症性腸疾患、大腸ポリープ、大腸癌

③胆道疾患

胆石、胆のうポリープ、胆道感染症、胆嚢癌、胆管癌

④肝疾患

急性・慢性肝炎、劇症肝炎、自己免疫性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬剤性肝障害、肝移植症例

⑤膵臓疾患

急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、膵癌、IPMN

⑥横隔膜・腹壁・腹膜

腹膜炎、腹壁ヘルニア

(4) 救急医療

急性腹症、消化管出血、出血性ショック、敗血症性ショック、肝性脳症

内科7(消化器内科)

	月	火	水	木	金
8:00					
9:00	内視鏡検査 (第2中診5F)光学診療医療部	腹部エコー (11階外来)	腹部エコー (11階外来)	内視鏡検査 (第2中診5F) 光学診療医療部	内視鏡検査 (第2中診5F) 光学診療医療部
10:00					
11:00					
12:00					
13:00					
14:00	肝生検 (7F病棟)PEIT/RFA	新患カンファ 回診 (8Fカンファ室)	肝臓カンファ 回診 (7Fカンファ室)	消化管癌カンファ 回診	
15:00					
16:00	管カンファ 回診 (7Fカンファ室)				
17:00					
18:00	医局会 (8Fカンファ室)				
19:00	勉強会、抄読会 (8Fカンファ室)				
20:00					
21:00					